



日本福祉大学健康科学研究所 2025年度公開シンポジウム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 育成から利用の時代へ！

～日本における木材利用と木造建築の普及とそれによる人への多面的効果～



**シンポジウムの概要：**育成期から収穫期へと転換期を迎える国産材の利用に係わってきた研究者と行政責任者から話題提供を受け、森と都市の連関に繋がる実践と知見を共有する。さらに、森林が都市と共に持続的に機能する未来の実現に向けた議論や、都市の木造化、木質化による利用者の快適性・生産性の向上の視点からの議論を通じて、森と都市の連携による社会的・経済的意義を多角的に捉えたい。

2025年11月25日（火）13時30分開始（16時30分終了予定）

STATION Ai 3階 大会議室（名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号）

80名定員（申込制・最終締切は11/14ですが先着順で定員に達し次第締切）

参加無料

申込QRコード

### 開会挨拶・シンポジウム趣旨説明

林野庁 / 愛知県・日本福祉大学 福田 秀志 氏（日本福祉大学工学部長/教授）



基  
調  
講  
演

### 「収穫期を迎えた日本の人工林活用の今後の展望と都市の木質化」

三重大学大学院生物資源学研究科

森林総合環境学研究室 准教授 渕上 佑樹 氏



渕上氏

話  
題  
提  
供

#### 1.滋賀県における木材利用の現状

滋賀県 琵琶湖環境部 びわ湖材流通推進課長 北脇 英昭 氏



北脇氏

#### 2.兵庫県の川中・川下施策のこれまでとこれから

兵庫県 農林水産部 林務課長 河田 尚顯 氏



河田氏

#### 3.あいちの森林・林業の現状と木材利用の取組

愛知県 農林基盤局 林務部 林務課長 青山 義明 氏



青山氏

#### 4.内装木質化によるワーカーの生産性と経済性の向上

日本福祉大学 工学部 工学科 建築学専修 准教授 坂口 大史 氏



坂口氏

### パネルディスカッション

コメンテータ：井戸田 秀樹 氏（日本福祉大学 健康科学研究所 教授）

モダレータ：福田氏



井戸田氏

パネリスト：渕上氏、北脇氏、河田氏、青山氏、坂口氏

主催 日本福祉大学健康科学研究所 後援 林野庁 / 愛知県  
共催 日本福祉大学ウェルビーイング工学研究センター